神奈川自然誌資料　3：65～66, Mar. 1982

ハシブトアジサシとクロハラアジサシの渡来

石　江　　馨・石　江　　進

Occurrence of the Gull-billed Tern and Whiskered Tern.

Kaoru Ishie and Susumu Ishie

1981年9月に，本邦ではその渡来が比較的稀とされ2種のアジサシ類を相継いで観察する機会を得た。以下に報告したい。

ハシブトアジサシ

9月5日，本県に於ては2回目の記録となるハシブトアジサシ *Sterna nilotica* Gmelin が1羽，多摩川河口（川崎側）に渡来しているのを発見した。全長38cm程のハシブトアジサシは，それより稍小型のアジサシの100羽程の群れと共に，干潟の砂州に休んでいた。背面はアジサシより白色味に富み，背の高い事と相俟って，識別は容易であった。嘴は黒色で短く，名前の通り太い。頭上は黒色で，夏羽であった(図1)。

本県に於ける過去の渡来記録は，1976年6月27日～28日に，相模川河口で観察された冬羽のもの1羽である。全国的にみても，過去の記録は冬羽のものがほとんどであり，夏羽のものの記録は今回がおそらく初めてであろう，との事であった(日本野鳥の会 理事 高野伸二氏談)。

飛翔はアジサシよりも遅く，カモメ類を思わせる。翼の幅は広く，尾の切れ込みは少ない。腰はアジサシの場合，はっきりと白く見えるが，本種は背面から尾にかけて同色で続き，大きさ，飛び方，色彩等から，飛翔中もアジサシとの区別は困難ではなかった。採餌方法は独特で，砂州の上を飛び回り，干潟に顔を出すカニめがけて舞い降り，掬うようにしてそれを捕える。ゴカイ類と思えるものも，やはり掬うようにして捕えた。川の流れの方にはほとんど出ず，川の縁に沿って出現する州の上を，上流から下流へ，下流から上流へと飛び回り，採餌していた。行動範囲は広く，1km以上にも及んだ。今回の観察では，餌はカニとゴカイであったが，カエル，トカゲ，小哺乳類等も捕食するという。また小魚をダイビングして捕えるとも言われるが，今回そのような場面は観察されなかった。カニを捕えた時，小型のものは飛翔しながら飲み込んでしまうが，大型のものの場合，砂州に舞い降りてのち飲み込んだ。

本種の繁殖地は，南北アメリカ，ヨーロッパ，アジア，オーストラリア等全世界的に点在しているが，日本に最も近い繁殖地は中国南部である。繁殖は湿地を好み，単独あるいは他のアジサシ類のコロニーに入って行う。繁殖を終えた後，寒冷地のものは暖地へ移動する。

多摩川河口は，県内に残された数少ない水鳥類の渡来地である。今秋季は特にシギ・チドリ類の渡来が多く，最近では珍らしくなったミヤコドリも1羽観察された。尚ハシブトアジサシの終認は9月9日であった。その後同一個体と思われるものが，愛知県岡崎市で観察されたという。

クロハラアジサシ

日本野鳥の会神奈川支部の田丸義夫氏より，相模川河口に於て，本県未記録だったクロハラアジサシ *Sterna hybrida* Pallas を発見した旨電話を頂いた。9月19日の事であった。翌20日，筆者らも相模川河口へ赴き，観察，撮影を行った(図2)。

クロハラアジサシは全長25cm，アジサシよりひと回り小型である。夏羽のものは頭上は黒色，口角から後頸にかけて白色，翼，上尾筒，尾は青灰色，胸は灰黒色で，腹部は黒色。下腹部，下尾筒，下雨覆は白色であるが，本個体は夏羽より冬羽へ移行中のものと思われ，頭上はゴマ塩の感じ，胸部より腹部にかけてもすすけた灰黒色であった。嘴と脚は赤色である。

飛翔はアジサシよりもかなり速く，軽快であった。採餌は水面上10m程の所を飛び回り，水面に出てくる小魚を捕える。水中に飛び込んで捕えた事も何回かあ

図1：ハシブトアジサシ
多摩川河口　1981.9

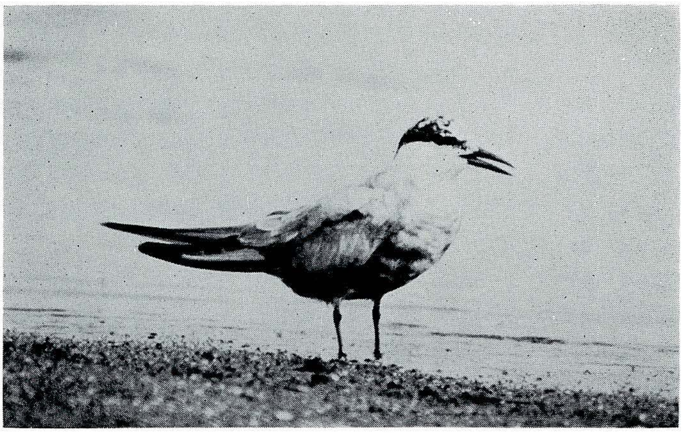

図2：クロハラアジサシ
相模川河口　1981.9

ったが，多くの場合嘴を一寸水面につけるだけで小魚を捕えていた。捕食の成功率はかなり高く，ほとんど失敗をしない。数匹の小魚を捕えると砂州に舞い降りてアジサシの群れと共に休み，また暫くすると舞い立ち採餌を行う。

本種はヨーロッパ南部，アフリカ，オーストラリア，アジア中部等に分布するが，本邦に見られるものはアジア産の亜種である。繁殖は内水面で行い，浮巣を作り産卵する。越冬も同じような環境で行う。

9月23日の相模川河口は無風，快晴であった。午前10時頃，本個体は一群のアジサシと共に舞い上り，干潟上を旋回しながら上昇を始め，双眼鏡でも捕捉するのが不可能な高度に達し，一時視界から消え失せた。その為渡去を思わせたが，10分程してまた干潟に戻っているのが観察された。しかし翌24日には観察されなかったとの事であるから，この日渡去したものと思われる。

文　献

内田清之助　1975　日本鳥類図説　講談社.

Gooders, J.　1979　Birds of marsh and shore. Orbis.

清棲幸保　1978　日本鳥類大図鑑　講談社.

Tuck, G. and Heinzel, H.　1978　A field guide to the seabirds of Britain and the world. Collins.

Terres, J.　1980　Encyclopedia of North American Birds. Alfred A. Knopf.

（石江　馨・石江　進：日本野鳥の会神奈川支部）